

健康のための

心と体の

メンテナンス

テーマ ◆ 目立たない歯列矯正治療(後編)

矯正開始前に虫歯を治療 治療中は口腔清掃を徹底

Q クリア・アライナーを使う歯列矯正治療の流れは?

A クリア・アライナーとは、取り外し可能な透明のマウスピース型矯正装置です。着けていることが周囲からほとんど分からないので、矯正治療中の見た目が気になるという人も、安心して治療を受けられます。

クリア・アライナーは複数の会社からさまざまなブランド名で提供されていますが、中でもよく知られている「インビザライン(Invisalign)」を例に、治療の流れを説明しましょう。どんな歯列矯正治療でも共通しているのは、コンサルテーション後、最初に口の中の精密検査を行うことです。歯や歯茎に問題があれば治療し、完治してから矯正治療を始めます。そして治療が開始されると、

インビザラインの場合、段階に合わせて形の違うクリア・アライナーに1〜2週間ごとに交換することで、少しずつ歯を動かします。

まず、歯科医師が歯型を作成し、それを基に開発会社のアライン・テクノロジー社がコンピューターの専用プログラムを使って治療計画を作ります。治療計画には、どれくらい時間をかけて、何個のアライナーを使い、歯をどのように動かすかなどが盛り込まれ、歯科医師の調整を反映して最終化されます。その後、治療計画を患者に説明し、患者の了解を得たらアライナーを作成します。

歯型作成からアライナーによる治療開始までは約3〜4週間です。患者は事前に、治療中に予想される歯の動きや歯列の変化をコンピューターの立体(3D)映像で確かめるこ

とができるので、納得して治療に取り組むことができます。

治療開始後は、1〜2週間ごとにアライナーを交換します。飲食時はアライナーを外しますが、それ以外の1日22〜23時間は装着したままにします。また1カ月に1回通院し、虫歯ができていないか、歯が計画通り動いているかのチェックを受け、次の1カ月分のアライナーを受け取ります。3カ月に1回は、歯科衛生士による口腔清掃(テイスクリーニング)が必要です。

Q 治療成功のために大事なことは?

A 歯列矯正を始める前に、歯と歯茎の問題を全て治療しておくことが一つ。クリア・アライナーの場合、治療開始時に、終了時までの必要なアライナーを全て作成します。矯正

治療中に虫歯や歯周病になったり、歯冠修復物が外れたりして治療を受けると、歯の形が変わってしまう、アライナーが歯に合わなくなりま。

Q 歯列矯正治療は何歳から受けられますか?

A 個人差はありますが、永久歯が生え揃う11〜12歳頃が治療開始の目安です。この年齢はまだあご骨が成長過程の中で、作り直しがきかないクリア・アライナーよりも、金属製のブラケット(矯正装置)とワイヤーを使用する従来の治療法の方が、良い結果を期待できます。ワイヤー矯正の場合、ワイヤーの締め具合などによって、歯の動きを柔軟に調整できるからです。

後にデンタルフロスと歯磨きをし、飲食時以外はアライナーを装着するという治療への真面目な取り組みと責任感がないと、この治療はできません。

Q 歯列矯正治療に歯科保険は適用されますか?

A ほとんどの保険は子供の治療費の一部と、場合によっては大人の費用の一部をカバーしています。費用は上下歯列両方の治療で数千〜8000ドル程度です。歯科医院によって幅がありますが、費用だけを重視せず、口コミなどを参考に信頼できる歯科医師を選ぶことも、治療成功の要因です。

※来週は堀口道子先生に、時差ボケと体内時計の関係について伺います。



インビザラインによる治療前(写真上)と治療後。インビザラインは、歯列の微調整から、この写真のような難しい症例まで幅広く対応可能(写真提供Lee先生)



クララ・リー先生
Clara Lee, DDS

歯科医師(Board certified)。ニューヨーク大学歯学部卒業後、ブルックデール大学病院・医療センター歯科・口腔外科部門でレジデンスを修了し、チーフレジデントを務めた。ブルックリンとマンハッタンで歯科医院勤務を経て、2010年からウォーターサイド・デンタル・ケア院長。一般歯科、矯正(インビザライン)、歯周病、インプラント、神経治療、レーザー治療など。ニューヨーク大学歯学部講師。

INFORMATION

Waterside Dental Care
10 Waterside Plaza, 1st Fl.
(at 25th St. & FDR)
TEL: 212-683-6260
www.WatersideDDS.com
日本人歯科助手が常駐